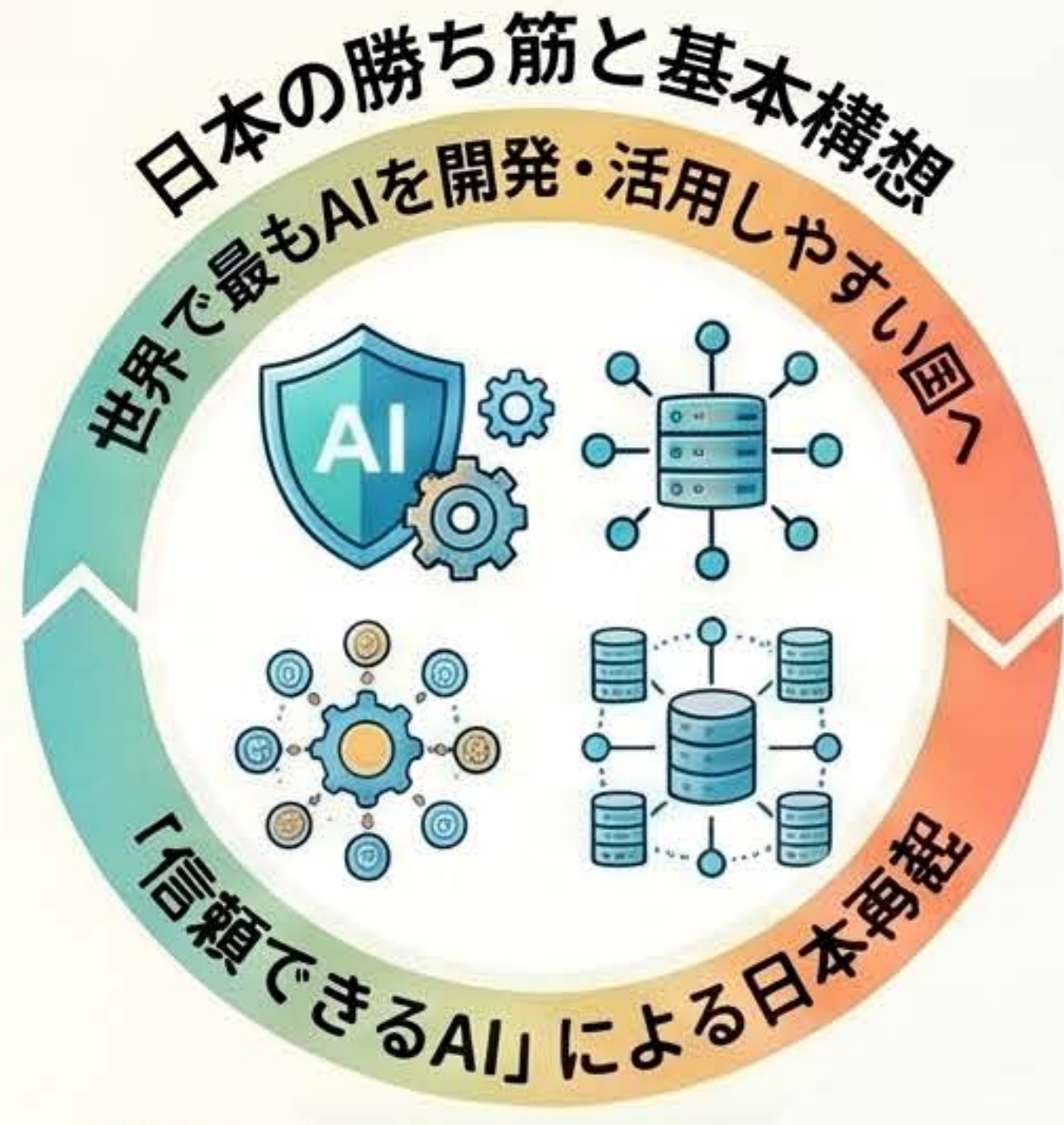
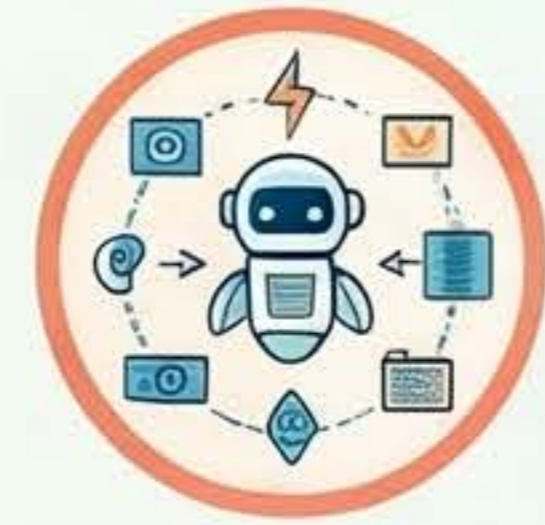


「信頼できるAI」で日本再起へ：人工知能基本計画（素案）の全体像

日本が目指す「世界で最もAIを開発・活用しやすい国」というビジョンと、その実現に向けた具体的戦略



バーティカルAI (領域特化型) & フィジカルAI (現実空間)
産業・行政の領域に特化した「バーティカルAI」と、現実空間で樹根を築く「フィジカルAI」を戦略の重点に置く。

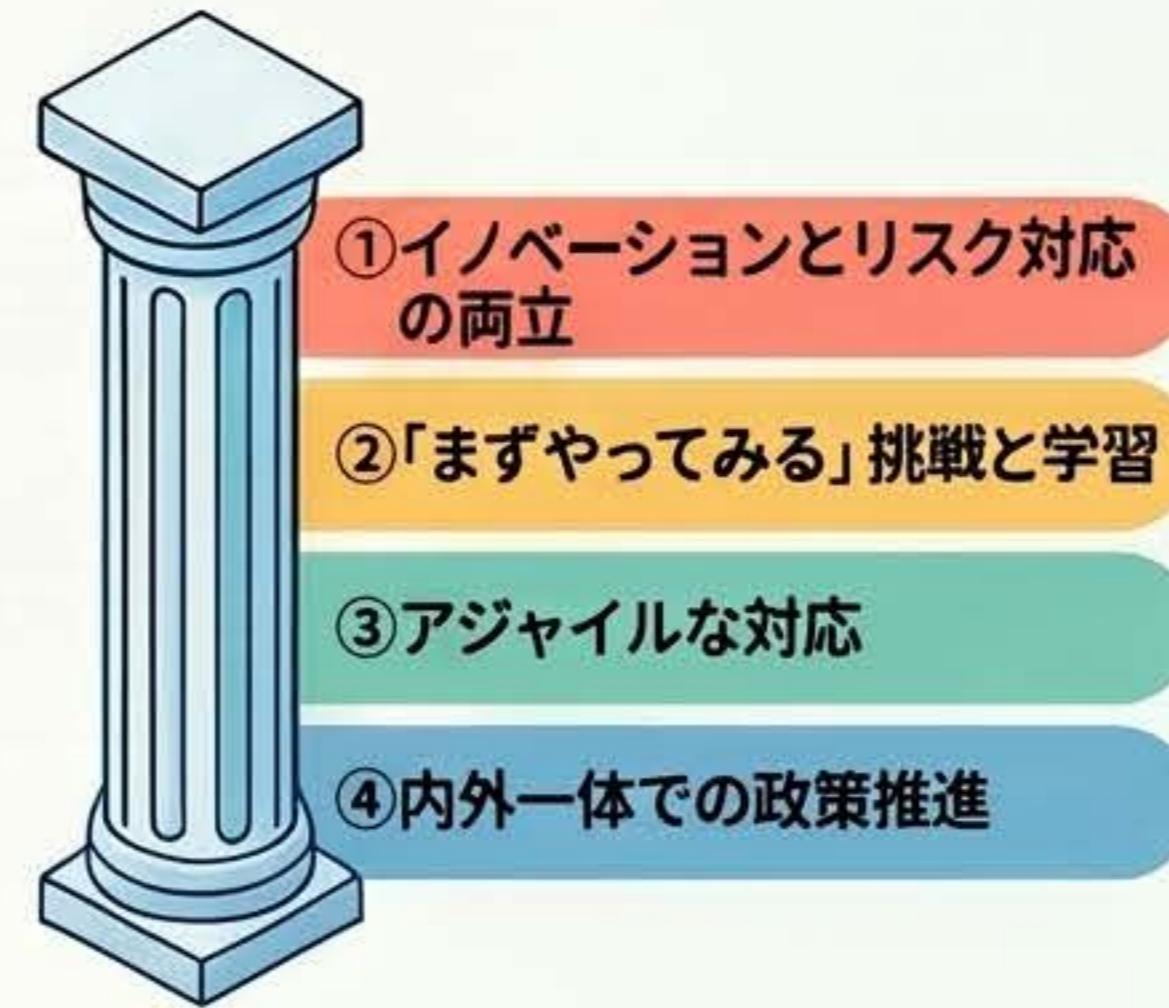


自律行動型AI (Agentic AI) 時代の到来
AIが自ら計画・実行・修正を繰り返す「自律行動型」への進化を国力に直結させ、社会実装を加速させる。

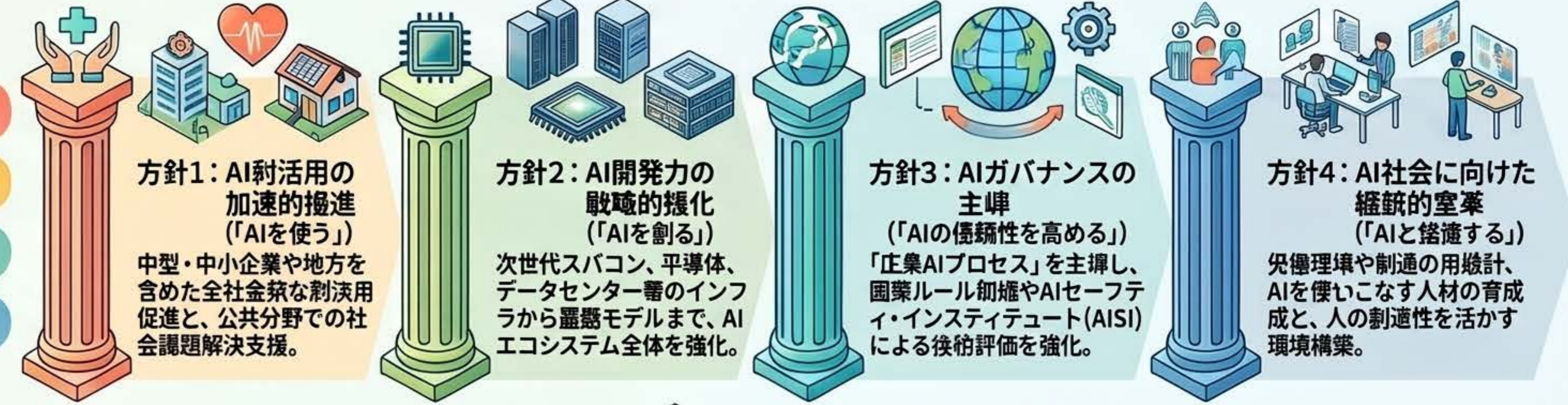


AI主権 (AI Sovereignty) の確立
特定の国や企業への過度な依存を避け、計算資源やデータプラットフォームの自律性と戦略的不可欠性を確保する。

政策を貫く4原則



推進のための「4原則」と「4つの基本方針」



具体的なアクション：政府と産業のAX

政府から始まる「源内(げんない)」プロジェクト

国内最大規模18万人の政府職員によるAI活用を推進し、その成果を自治体へも展開する(嘴より始めよ)。

「地域AX」による地方の成長

人手不足が深刻な地方の中堅・中小企業へAI導入を支援し、地方の伸び代を成長に転換する。



5つのAI人材像の定義

質・量ともに育成・確保する。

リスク対応と「人間力」の向上

責任あるアジャイル・ガバナンス
ディープフェイクやサイバー攻撃に対し、「制機」「抗術」「職能管理」を統合した対策(Project YATA-Shield等)を実施。



人的主体性 (Human Agency) と「人間力」

AIに依存せず、課題設定能力や判断力といった「人間ならではの強み」を発揮できるよう教育や働き方を推進する。



「信頼できるAI」で社会全体を駆動する

個人の尊厳を尊重する人間中心のAI社会を堅持しつつ、AIを誘導とした制機や政策を再構築する(AIトランスフォーメーション)。